

県図なう。

令和3年12月15日
第129号 (毎月15日発行)
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel: 099-224-9511



鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。

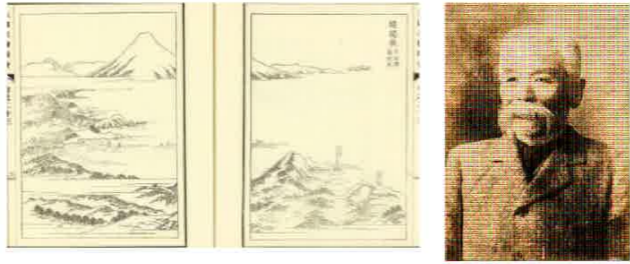
鹿児島県立図書館

ホットニュース

御覧になりませんか？貴重資料！

本年度第2回の貴重資料展を実施します。日頃は見ることのできない貴重資料をぜひこの機会に御覧ください。

- 1 展示期間 令和3年12月15日(水)～令和4年2月23日(水)
- 2 展示場所 県立図書館 1階正面玄関ホール
- 3 展示テーマ
 - (1) 鹿児島に伝わる古地図の世界 ～伊能図完成200年～
 - (2) 前田正名と薩摩辞書 ～没後100年～



【三国名勝図会】 【鹿児島県出身人物写真帖 前田正名】

図書館で探そう、調べよう!

幼稚園で読み聞かせする本で
秋に適したものを教えてください

図書館周辺の木々も彩り始めたころ、「幼稚園の子どもたちへの読み聞かせ用の絵本を一緒に探して欲しい」という方がいらっしゃいました。

お勧めの絵本はたくさんありますが、今回は秋のピクニックシーズンに合わせて、「おべんとう」(小西英子作・こどものとも/年少版/福音館書店)をご紹介します。熱々のミートボールに、ふんわり卵焼き。じゅうじゅうウインナーや、ほっこりみどりのブロッコリー。ページをめくると、色とりどりのおかずが、小さなお弁当箱に詰められていきます。炊きたての真っ白いご飯の上には、ごまをばらばらばら…最後にデザートのにちごを詰めたら、黄色の水玉模様のハンカチできゅっと包んで完成です。愛情がこもったお弁当をあけるときのあの気持ち。子どもたちと一緒に味わってみませんか。

もう一冊は、「あきぞらさんぽ」(作 江頭路子/講談社の創作絵本)をご紹介します。舞い散る银杏の葉を金色の鳥にたとえた歌のように、赤、黄、橙、黄緑の葉っぱが舞い散る中、おさんぽにでかけます。みのむしさんを真似てゆらゆらしたり、葉っぱを真似てくるくる回ったり。お父さんと寝転がった落ち葉のプールの中で、あったかい土の匂いに包まれながら空を見上げると、穏やかな茜色。ゆったりと秋のお散歩に出かけたくなる本です。

さて、県立図書館には大型絵本、紙芝居、エプロンシアターやパネルシアター、そして人形劇など、読み聞かせ向きの蔵書がたくさんあります。ぜひ、読み聞かせを通して、幸せなひとときをお楽しみください。

《一般図書》12月17日(金) **新着図書案内** 《児童図書》12月23日(木)

- | | |
|--|---|
| ○『「英語が読める」の9割は誤読 翻訳家が教える 英文法と語彙の罨』
越前 敏弥/著 ジャパンタイムズ出版 | ○『じゅんばんなんて きにしない』
テリー・ミルン/作 いしい むつみ/訳 BL出版 |
| ○『タクシードライバーぐるぐる日記 朝7時から都内を 周回中、營收5万円まで帰庫できません』
内田 正治/著 フォレスト出版 | ○『ねこのふくびき』
木内 南緒/著 よしむら めぐ/絵 岩崎書店 |
| ○『「シンデレラ体重」が危ない やせれば本当に幸せになれるの?』
黒住 紗織/編著 日経BP総合研究所(ヘルシー・マザリング・プロジェクト)/編著 日経BPマーケティング | ○『介助犬チェリーのパピーウォーカー』
山口 理/作 岡本 順/絵 文研出版 |
| ○『“ひとり出版社”という働きかた』増補改訂版
西山 雅子/編 河出書房新社 | ○『ぼくらのスクープ』
赤羽 じゅんこ/著 講談社 |
| ○『心をととのえるスヌーピー 悩みが消えていく禅の言葉』
チャールズ・M・シュルツ/ (原) 著 谷川俊太郎/訳 光文社 | ○「そらのことばが降ってくる 保健室の俳句会」
高柳 克弘/作 ポプラ社 |

医療・福祉支援コーナーを リニューアルしました!

一般閲覧室(1階)には、医療・福祉支援コーナーがあります。このコーナーを11月の休館中にリニューアルしました。これまでの項目を再編するとともに、医療系のシリーズや生活習慣病等をはじめとする医療情報、ロコモティブシンドロームの予防をはじめとする健康増進に関する本など、皆さんの情報収集に役立つ本をより一層充実させました。



どうぞ、ご活用ください。

図書館職員のつぶやき

今年こそ！と決意し、年末に向けて自宅の大掃除にとりかかりました。まずは、買ったそのままの状態に積み上がっている本を片付けようと本棚の整理から始めましたが、これが間違いでした。すでに私の本棚は満杯。何かを手放さなければ、積み上がっている本は取まらない状態です。しかし、その手放す決断ができません。散々悩んだ挙げ句、本たちをもとの場所に戻し、積み上げて、大掃除は振り出しに戻りました。

電子書籍で管理してしまえば、場所の問題は解決することでしょう。でもやっぱり私は、慣れ親しんだ紙の本が好きなのです。ページをめくって物語を進めることができる紙の本に魅力を感じています。きっとこれからも紙の本を集め続けることでしょう。そんな私の大掃除が終わるのは、いったい何年後になることやら。長い戦いになりそうです。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、モーリス・センダック/作の『かいじゅうたちのいるところ』(富士房)です。

まだ私が幼く、保育園児の頃、私がやんちゃで元気すぎるマックスのようだからと母がこの本を買ってくれたのだと今まで思っていました。しかし、最近、この本について母と思い出話をしたところ、人見知りだった私が保育園のお披露目会で主役をしようと言ったことがきっかけだったと分かりました。主役をやりきった私に感動した母が、この本を探し出し、買ってきてくれたのだそうです。中学3年生になって、改めてこの本を読むと、マックスの表情や感情から幼い頃の私を思い出します。そして幼いときにはわからなかった母の思いや愛情を感じることができました。この本は私にとってかけがえのない宝本です。

かいじゅうたちのいるところ



モーリス・センダック さく じんぐうてるおやく

図書館クイズ

にじいろのほん『手ぶくろを買いに』
新美南吉/作 黒井健/絵 (偕成社)からのクイズです。

きつねのこが手ぶくろをかうためにさがしていたのは何屋さんかな?

- ①かばん屋さん ②おかしやさん ③ぼうしやさん

ヒント
むぎわら、ベレー、シルク...

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、1月14日(金)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「②ぞう」でした。

たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
12月	12	13	14	15★	16☆	17◇	18◆
	19	20	21	22★	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	
1月							1
	2	3	4	5★	6	7	8
	9	10	11	12★	13	14◇	15◆

- 開館時間 火曜日～土曜日:9時～21時
日曜日・祝日(白抜):9時～17時
(12月28日、1月4日は17時閉館)

- は、休館日
○ は、学習室と一般閲覧室の新聞・雑誌コーナーのみ開室
★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分～16時)
☆ は、赤ちゃん向け(11時00分～11時30分)
◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)
◇ は、一般閲覧室新着図書の日(12月17日、1月14日【予定】)
□ は、児童文化室新着図書の日(12月23日)